

イエス様の死(十字架)の前で(マルコ 14:1-11)

その人が本当に祝福の人なのかどうかは、イエス様の死を前にどのように反応するかでわかります。今日の聖書箇所、律法学者やパリサイ人は、自分の都合や主張と合わないでイエス様を殺そうとし、イスカリオテのユダは、イエス様について来たけれど、十字架の死を聞いて、失敗だったと思い失望して裏切りました。それらとは異なる反応をした女性から、祝福の反応はなにかを見ましょう。

1。「イエス様の死(十字架)は私の救い」とわかる人は、止められない感謝で溢れる。

女性は、イエス様の死は自分の救いだと思ったので、感謝にあふれ、感謝のない人には理解できない行動をしました。

1) 私は希望のない罪人

汚れた人生、それよりひどい根本(エペソ 2:1-3)

女性は、イエス様が十字架で死ぬしかないほど自分が希望がない罪人だと悟りました。罪過と罪の中で死んでいて、空中の権威を持つ支配者に捕らえられ、御怒りをうけるべき子だったことを、十字架の前に立って悟ったのです。この根本は、聖書だけが教えていることで、人間の真相です。

2) 知らずにもがいていた過去

傷だらけ、疲れて重荷を負い、ボロボロ祝福の人は、その根本を知らずにもがいていた過去を素直に認めます。

3) 神様の無条件の愛

ヨハネ 3:16、ローマ 5:8-11、ガラテヤ 2:20、ヨハネ 19:30

イエス様の十字架は、そのような自分のためだと、神様の無条件の愛がわかります。その目が開かれるなら、世の中の価値あると言われることとは比べられないので、世の中のことは「ちりあくた」だと思えるようになります。無条件の愛ゆえに、神様はひとり子を世に遣わし、罪人のために死んでくださいました。私は十字架とともに死んで、キリストが生きる者となったのです。そのことを十字架でイエス様が完了してくださいました。イエス様が完了してくださったので、ひどい根本も、罪ゆえの弱さ、限界も問題になりません。ほんとうに自分が罪人だと認め、イエス様の十字架を感謝しましょう。

2。「イエス様の死(十字架)は真のいのち」とわかると、計算を超えた献身に現れる。

1) 弟子たちの反応

計算で動いていた弟子たちは、女性のした

ことを見て、怒りました。キリストによる救いと無条件の愛を受けた者は、計算に捕らわれない人生を歩みます。

2) 計算出来ないからではない

その行動は、救いの感謝が分からない人にはわかりませんが、計算ができないからではありません。計算を超えた感謝の現れです。

3) 最も大事ないのちの価値に目覚めて優先順位が変わる

いのちの価値が分かると、献身できることを光栄に思い、優先順位が変わります。

4) 計算(条件付き)ある献身

宗教的、ご利益、償い、洗脳等

主のため福音のためと言いながらも計算しているなら、宗教です。献身は、感謝ゆえに光栄に思っ

5) 真の献身は永遠の作品に

そうすれば、すべては祝福になります。感謝して光栄に思っ

てする献身は、永遠の作品となります。自負を持って、献身の道を歩みましょう。

いかなる理由でも妨げられない救いの感謝と感激を回復しましょう！過去がどうであって

もいのちを持っていることは、何にも比べることができません。イエス・キリストが幸せな

のです。いのちの絶対価値と祝福に目覚め、真の献身を決心しましょう！自分の献身が永遠の作品となる証人の道を歩みましょう！証人である私たちのメインテ

ーマは、たましいの救い、神の国が臨むことです。その祝福に預かることを祈ります。

1部-マルコ 14:1-11 イエス様の死(十字架)の前で
なるほど/イエス様の死(十字架)は自分の救いであり、真のいのちであるとわかる人は、感謝に溢れ計算を超える献身の信者になる。
ならば/救い感謝を回復し、計算を超える献身の信者を決心し、それが永遠の作品となることを信じて祈ろう！

2部-信者の祈り(使徒 1:7-8)
なるほど/信者には、空中の権威を砕き、証人となる力を得て神のやぐらを建てる祈りの特権がある。
ならば/空中の権威を砕く祈り人、言い訳のない信仰の人、光を放つやぐらの人を祈ろう！